

平成21年4月27日日本原子力発電株式会社

東海・東海第二発電所における安全向上への取組みについて

- 1. 当該期間に安全対策等 実施した項目
- (1) 発電所の状況
- (2) 発電設備総点検結果の再発防止対策への取組み状況
- (3) 新潟県中越沖地震を踏まえた東海第二発電所における対応
- 2. 具体的な内容
- (1)発電所の状況
 - ①東海発電所(廃止措置中)
 - ・東海発電所の廃止措置工事については、安全を第一に、熱交換器、燃料取替機及び燃料取扱建屋領域機器 等の撤去工事に取組んでおります。
 - ②東海第二発電所
 - 東海第二発電所は定格熱出力一定運転にて安全運転を継続中です。
- (2)発電設備総点検結果の再発防止対策への取組み状況
 - ・発電設備の総点検結果に対し、平成19年5月21日に再発防止対策として策定した新行動計画25項目について、トップマネジメントのもと安全第一を最優先に、全社一丸となって取り組んでまいりました。今後とも継続して取り組んでまいります。
- (3) 新潟県中越沖地震を踏まえた東海第二発電所における対応
 - ①耐震裕度向上工事(地盤改良工事)
 - 非常用海水系配管及び海水ポンプ室周辺を対象とした地盤改良の作業が完了しました。
 - 主排気筒の補強工事を開始しました。
 - 2)耐震安全性評価
 - ・耐震安全性評価に係わるより一層のデータ拡充を行うため、敷地周辺の陸域断層及び地下深部構造に係わる補足調査を実施し、評価を行っています。これらの補足調査結果等を反映し、より充実させた内容の耐震安全性評価結果としてまいります。

<参考資料>

- 1. 発電設備総点検結果の再発防止対策への取組み状況
- 2. 『東海発電所・東海第二発電所 管理区域における個人線量計(EPD)の着用不備』に係る 共通要因の対策実施状況

以上

発電設備総点検結果の再発防止対策への取組み状況(1/2)

で成立の年度 平成20年度 H													1101		
改善項目															H21
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
マスタースケジュール				東海第二	二 定期	検査(第	23回)								
職場風・	1	安全第一の再徹底		度末に出					検証		H21経	営方針・	業務方釒	†策定	検証
	2	経営層と社員との対話活動の継続、推進		人社員 社長4回			社員の意 計8回)		会 検証						検証
土	(3)	発電所幹部と発電所各室・グループとの対話 活動等の推進及び言い出す仕組みの徹底	発電	『所幹部』	と所員と	との対記	活動/	室・グルー		ÀK M					
安			(東海:幹部	部計24	·回、懇	談会 計	6回)	検証						検証
安全文化の改善	4	顧問会議による発電所運営のレビュー		▼顧		(5/8·9· 頁問会調	14) 義(6/20)		検証					司会議 (27)	検証
	5	人的資源・業務の適正配分に関する評価・検 証			•	▼定期昇	軋動(7/1			組	継続的評	価・改善			検証
	6	労働安全衛生マネジメントシステムの導入促 進,活用					リス	クアセス	メント			シス	テム監査		検証
企業倫理・安全意識の改善	7	技術者倫理教育の速やかな実施等		ンプライ	アンス砧	#修, リ-	ーダシッ	プ研修,	関係法令	令, 保安	規定の	隼備・実	施		検証
									検証						
	8	安全意識調査の継続的な実施と評価・改善等	アンケート	調査, 評意見交	価, 分林 換会/	f, 活動 改善策,	見直し 活動見	直しの村	食討		•		アンケー	小調査▪	評価
	9	発電所内の各室・グループの相互業務レ ビュー			相互第	き務レビュ	-(H19	下期分)	相互業検証	務レビュー	(H20上	期分)			検証
	10	通報連絡三原則の徹底(事例勉強会等)	安協兒	边強会(瓦	定期異重		社外講館	市による:	検証 勉強会			•	7社外講	師による	検証 検証 る講演会
	(1)	報告・連絡・相談の徹底(社内外)	対話	舌動の充	実/通	報三原	則の徹原	ミ/協力	検証 会社との	Dコミュ=	ニケーシ				検証

* 3月末実績

東海第二発電所が平成20年度で実施した主な活動事項(〇数字は活動項目番号)

- (1)職場風土・安全文化の改善
- ②経営層と所員との意見交換会を実施しました。(社 長:4月11日、7月28日、8月1日、1月19日) (経営層:7月14日、7月28日、1月23日、2月13日)
- ④顧問会議による発電所運営レビューを実施しました。(5月8日、5月9日、5月14日、6月20日、2月27日)
- (2)企業倫理・安全意識の改善
- ⑩ 社外講師による通報連絡に関する勉強会を実施しました。(7月18日、1月29日)

発電設備総点検結果の再発防止対策への取組み状況(2/2)

			平成20年度												H21
改善項目			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
マスタースケジュール				東海第二	二 定期	検査(第2	23回)								
	(12)	QMS教育の充実・推進(不適合管理, 記録管理, 保守管理, 内部監査)	QM	S活動σ	継続								▼ն	質保証	
									1	内部監	查員養原	式コース			検証
	13	不適合管理の徹底,不適合管理票のデータ ベース化	不道	童 合処理	状況検	討会(原	則1回/	月)等	検証	不適合	管理票	DB化			検証
	14)	設計データ、保全データの電算化推進	計器	塔使用表	•校正訂	記録DB運	用開始	<u></u>	検証	1					検証
Q			基本	、 設計教	育資料	作成/教	育の実	施	12011	J					17.11
M S の 改	_	設計管理能力, 保守管理能力の向上							検証						検証
	16	調達管理における技術評価、設計検証の徹底	仕村	兼書標準	記載例	の作成々	/工事技	支術検討	会の検 検証	討∙審議	基準の原	月確化∠	'設備区	書検討	検証
善		定期事業者検査要領書の見直し	定其	胡事業者	検査要	領見直U	,		12.00						1248
	(17)								検証						検証
	18)	計器取替時の新仕様妥当性確認手順の ルール化	▼東海	手引書	運用				検証						検証
	19	内部監査の検証と改善		内	部監査				17CHILL	」 内部監	査(再発	防止対	策実施	状況)	1XIIII
									検証						検証
行	20	保安規定の変更及び変更に伴う社内規定等 の整備		年度対策											
政 処	21)	定期検査時の特別な検査対応及び特別原 子力施設監督官対応	東		の特別な 保 <u>安検</u> 査	検査完 *	了(9月	 12日) 保安検	査	保安核	査		保安村	乗査	
分等に係る新規項目	22	原子力施設へのフリーアクセスの導入協力	(運用	継続中)	6/2~6	/20)	(9/1~9/	19)	(11/17	~12/5)		(2/23	3∼ 3/13	検証
	23	原子力発電施設の保安検査結果の公開対 応		9第4回 果公開(保安検査 4/24)			回保安核 開(8/4)		第2回任	果安検査 開(10/			保安検: 開(2/5)	査
	24)	ニューシア対象範囲拡大及び活用推進	(=	ューシア	運用継	続)			₩	1					検証
	Ĕ		h=	ブル情	報共有領	等の活動	継続		検証	J					快祉
	25 E	BWR事業者協議会による情報共有の推進		111	IN. VID	/ ப ೨			検証	1					検証
	1				1					4					

* 3月末実績

東海第二発電所が平成20年度で実施した主な活動事項(〇数字は活動項目番号)

- (3)品質マネジメントシステム(QMS)の改善
- (5)技術系新入所者への基本設計教育を継続して実施しました。
- (4)行政処分及び指示対応(新規取組み項目)
- ②保安検査の結果公表に同席し、当社の取り組み状況を公表しました。(4月24日、8月4日、10月31日、2月5日)

『東海発電所・東海第二発電所 管理区域における個人線量計(EPD)の着用不備』 に係る共通要因の対策実施状況

再 発 防 止 対 策	実施 状況
・管理区域内では、EPDを必ず身体に着用することを再教育するとともに、入所時の放射線管理教育に反映する。	【済】
・EPD着用キャンペーン(立ち番、ポスター掲示等)を定期的に実施する。	【実施中】
・管理区域内では、0.00mSv であるという先入観をもつことなく、必ずEPDを常時着用するという教育を徹底する。 教育にあたっては、今回の事象などの具体的な事例を用いて、個人の理解にバラツキが生じないよう配慮する。	【済】

【参 考】

EPD着用キャンペーン実施状況

《EPD貸出ラック前でのキャンペーン》



《立入管理ゲートへのポスター掲示》

